

1 現状と課題

- ・県内の水田は、大規模な区画が少なく、区画50a以上の整備率は2%である。大型農作業機械の導入が困難なほ場も多く、過疎化・高齢化の進行により、効率的な農業生産に支障が生じている地域もある。
- ・野菜や果樹など高収益作物の導入を可能にする、水田から畑地への転換を推進しているが、ほ場の土質や排水不良等の課題があり、進んでいない。
- ・農業水利施設の多くが、耐用年数を超過する時期を迎えており、更新整備や長寿命化が急務となっている。

2 事業目的

- ・農地や農業用施設の条件整備を行うことにより、地域の担い手が効率的な農業を営むことができるようにする。また、地域の特性に応じた高収益作物の作付けを実現させる。
- ・農業水利施設を補修・更新することにより、安定的な用水の供給を可能とするとともに、施設の損壊による災害を未然に防止する。

3 事業目的を達成するための取組

①生産効率を高める農地・農業用施設の整備

- ・スマート農業技術の導入や担い手への農地の集積・集約化を可能とし、農業生産コストを削減するため、ほ場の区画拡大や用排水路の地中化を実施
- ・中山間地域において、生産基盤と併せて、集落道などの生活環境の整備を実施



【ほ場の区画拡大】

②収益性を高める農地・農業用施設の整備

- ・高収益作物の生産に向け、水田から畑地への転換や畑地かんがい施設の補修・更新を実施
- ・ほ場の冠水による畑作物の品質低下を防止するための排水対策、農作物輸送に伴う荷傷みを防止するための耕作道を整備



【水路兼用農道の整備】

③用水を安定供給するための農業水利施設の適切な更新

- ・農業用水の安定供給と維持管理労力の軽減を図るため、農業水利施設の長寿命化を実施
- ・維持管理や更新に係る費用負担を軽減するため、農業用水を活用した小水力発電を導入
- ・迅速な操作体制と施設管理者の安全性を確保するため、水門の自動化・遠隔化を実施
- ・本年 7 月の大雨で脆弱化した農業用水路の再度災害防止工事等を支援
- ・7～8 月の著しい渇水による被害防止のため市町村が実施した対策への支援
- ・農業水利施設の省エネルギー化と農業者等の負担軽減を図るため、土地改良区に対し、農業用水需要ピーク期の電気料金高騰分の一部を支援



【水路トンネルの補強】

4 成果指標

(推移の凡例) ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度		R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移			
①	農業生産コストを低減するための ほ場の区画拡大面積（累計）	ha	267	295	↗	326	↗	345	未達成	第9次土地改良長期計画におけるR9年度までの目標に基づき、 R7年度の区画拡大面積（累計）を設定。
②	収益性を向上させる畑地かんがい 施設の整備面積（累計）	ha	3,132	3,178	↗	3,397	↗	2,571	達成	第9次土地改良長期計画におけるR9年度までの目標に基づき、 R7年度の畑地かんがい施設の新設及び更新を行う農地面積 （累計）を設定。
③	重要な農業水利施設の整備箇 所数（累計）	箇所	60	66	↗	68	↗	62	達成	第9次土地改良長期計画におけるR9年度までの目標に基づき、 R7年度の重要な農業水利施設の整備箇所数（累計）を設 定。 ※R7年度当初予算、9月、1月及び2月補正予算シートに記載したR7 年度目標値が誤りだったため修正しました（修正前：55、修正後：62）

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

[illegible]

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計			
				(予算現額)	うち一般財源		
R7年度	3,394,858	7,620,568	505,278	11,520,704	708,341	7,634,519	74.6
R6年度	3,044,402	6,841,453	△ 5,817	9,880,038	773,584	6,483,078	71.3
R5年度	5,926,654	5,880,829	368,902	12,176,385	902,982	9,115,911	74.0

事業番号	09 05 03	事業改善シート（令和 7 年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	農業農村の基盤整備事業			部局	農政部	課・室	農地整備課

7 主な取組実績と成果

①生産効率を高める農地・農業用施設の整備

・経営体育成基盤整備事業等により、10a～20aの狭小な区画を概ね50a区画に拡大するとともに、水路や農道整備を行い、累計約326haの農地で生産性の向上を図った。



【ほ場の区画拡大（上原地区）】

②収益性を高める農地・農業用施設の整備

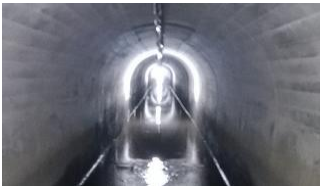
・経営体育成基盤整備事業等により、水田から畑地への転換や、畑地かんがい施設の新設及び更新を行い、高収益作物の導入等により収益性の向上を図った。
・中山間総合整備事業、畑地帯総合整備事業により、ほ場の冠水被害による畑作物の品質低下防止のための排水対策、農産物輸送に伴う荷傷み防止のための耕作道を整備した。



【整備された畑地かんがい施設（南牧野辺山地区）】

③用水を安定供給するための農業水利施設の適切な更新

・重要な農業水利施設である、水路トンネル 2 箇所の整備が完了し、累計68箇所の整備完了により農業用水の安定供給を行うことが出来た。
・農業用水を活用した小水力発電について、5,058kWの設備容量を整備した。
・大雨で脆弱化した農業用水路の再度災害防止工事等について、2 地区を支援。
・市町村が実施した渇水対策への支援として、7 地区を支援。
・農業用水需要ピーク期の電気料金高騰分の支援として、9 地区を支援。



【補修が完了した水路トンネル（小渋川 2 期地区）】

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標 ①	農業生産コストを低減するためのほ場の区画拡大面積（累計）	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	未達成
区画整理工事において地元調整に時間を要し、完成が翌年度にずれ込んだことが要因となり、区画拡大面積は326haと目標（345ha）を下回った。今後は調整の早期化を図ることで、目標達成につなげる。							
指標 ②	収益性を向上させる畑地かんがい施設の整備面積（累計）	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	達成
事業計画に基づき計画的に事業を推進した結果、目標値2,571haを達成した。							
指標 ③	重要な農業水利施設の整備箇所数（累計）	R6年度推移	↗	R7年度推移	↗	達成状況	達成
事業計画に基づき計画的に事業を推進した結果、目標値62箇所を達成した。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記 7、8 及び県民の意見等を踏まえた課題

・地域計画の策定により、10年後には県内農地の約 3 割で担い手が不在となることが見込まれる中で、農地の区画拡大等の生産基盤の整備により生産性を向上し、担い手に農地を集積・集約することが必要である。
・農業用水の安定供給に必要な農業水利施設の多くが耐用年数を迎える中で、長寿化計画を踏まえた計画的な更新を行うとともに、農業者が減少する中においても適切な保全管理がなされるよう維持管理体制の構築が必要である。
・民間による新規小水力発電地区数は増加傾向にあり、民間事業者と連携しながら整備を進めていく必要がある。

(2) 事業改善の方策

・地域計画を踏まえ、農地の区画拡大や平坦化、畑地かんがい施設の整備、排水改良など耕作条件の改善により、担い手への農地集積を促進する。
・長寿化計画自体を適切に更新し、計画的な農業水利施設の補修・更新を進めるとともに、水土里ビジョンの策定を通じて土地改良区等による適切な保全管理体制を整え、農業生産に不可欠な農業用水を安定供給する。
・小水力発電については、適地調査による候補地の発掘に加え、民間事業者への P R ・施設管理者とのマッチングにより、補助事業と民間開発の両面で小水力発電の促進を図っていく。

事業番号	09 05 03	細事業一覧（令和7年度実施事業分）		☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	農業農村の基盤整備事業		部局	農政部	課・室	農地整備課	

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	農業農村の基盤整備事業		9,115,911 千円	6,483,078 千円	7,634,519 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県営かんがい排水事業	直接	農業水利施設の更新・補修、管理の省力化		
			実施地区 17地区		
2	県営畑地帯総合土地改良事業	直接	畑地かんがい施設の更新、畑地の区画整理		
			実施地区 10地区		
3	経営体育成基盤整備事業	直接	水田の区画整理、用排水路・農道の整備		
			実施地区 11地区		
4	県営農道整備事業	直接	安全施設の整備		
			実施地区 1地区		
5	県営中山間総合整備事業	直接	中山間地域における農業生産基盤と農村生活環境の整備		
			実施地区 11地区		
6	団体営土地改良事業	補助金	農業水利施設や農道の改修、区画整理等の支援		
			実施地区 81地区		
7	県単農業農村整備事業	補助金	土地改良区等が行う農業水利施設等の整備への支援		
			実施地区 51地区		
8	農村地域整備基礎調査事業	直接	農業農村整備事業の計画策定等に必要な基礎資料の収集整理（整備実績等の調査）		
			調査対象 77市町村		
9	中山間地域土地改良施設保全管理適正化事業	直接	中山間地域の土地改良施設を保全管理する市町村・土地改良区を対象に会議、説明会を開催		
			会議・説明会 20回		
10	「信州の農業資産」地域学習活用事業	直接	情報発信に必要な啓発資料「信州の農業資産魅力ガイド」の改訂・増刷		
			増刷部数 8,000部		
11	地下かんがいシステム導入促進事業	直接	地下かんがいシステム「FOEAS」の実証試験の実施及び実証展示会の開催		
			実証展示会 1回		
12	信州棚田ネットワーク推進事業	直接	棚田保全団体と企業等とのマッチング		
			棚田パートナーシップ協定締結 1企業等		
13	ふるさと信州棚田支援事業	補助金	棚田地域における土地改良施設や農地の保全整備等を行う地域住民活動への支援		
			支援団体 9団体		

14	中山間地域の水田における用水管理 の省力化事業 ～スマホで簡単らくらく水管理～	直接	既設水門の遠隔化実証及び啓発
			実証実験 2箇所
15	畦畔の緩傾斜化による草刈りの省力 化事業	直接	既存畦畔を活用した自動草刈り機のモデル実証及び啓発
			実証実験及び実演会 1回
16	農業農村整備GIS構築事業	直接	GISを活用した農業農村整備事業実績管理システムの構築
			システムの構築